

創 立 50 周 年

桜台小だより

<http://www.sagamihara-sakuradai-e.ed.jp/>



〒252-0321
相模原市南区相模台7-7-1
TEL 042-742-3674
FAX 042-741-7991

学校長 遠藤 洋子
令和2年 1月 31日

「学び、かかわり、共に育つ桜っ子」をめざして



今年度も残すところ2か月となりました。子供たちは、進級に向けて、学年のまとめにしっかり取り組んでいます。桜台小学校としても、創立50周年を節目とし、令和2年度を新たなスタートと考え、本校児童の長所と課題について分析し、めざす子供像を明確にしたうえで、学校教育計画を見直しているところです。

全国学習状況調査の結果からわかる本校児童の特徴

国語については、学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことや、目的に応じて質問を工夫したり、話し手の意図を捉えながら聞くことについては定着してきています。しかし、ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いることについては、課題が見られました。また、目的に応じて、文章の内容を的確に押さえながら読むことや、相手にわかりやすく伝えるための記述の仕方を捉え、自分の考えを書くことについては、やや課題が見られます。「書くこと」「読むこと」の力をつけるためには、日頃から文章を読んだり書いたりする活動を大事にし、習慣化を図ることが必要と考えます。

算数については、計算することは定着してきていますが、示された計算の仕方を解釈し、減法や除法において成り立つ性質を記述したり、その性質を用いて計算したりする設問に課題が見られました。今年度は、文部科学省国立教育政策研究所教育課程研究センター実践研究協力校として授業改善に取り組んできました。来年度は、相模原市教育委員会より算数科指導における研究推進校の委託を受けていますので、引き続き、学びを楽しみ、学びを生かす子供をめざして、授業改善に努めていきます。

児童質問紙による生活習慣や学習環境については、「朝食を毎日食べる」「同じ位の時刻に寝る・起きる」が全国に比べ高い割合です。また、「地域の行事に参加している」については、全国が68%のところ、本校児童は85.7%とかなり上回っています。積極的に地域とかかわり、地域の中で子供たちが育っていることを改めて実感しました。「学級の友達との間で話し合う活動を通して考えを深めたり広げたりすることができている」と答えた児童の割合も高い結果でした。これは、算数科を中心に、集団で学び合う活動を取り入れながら一人一人の確かな学びをめざしてきた成果ではないかと思えます。また、「自分には良いところがある」「難しいことでも失敗を恐れないで挑戦する」については、低い傾向にあり、課題と考えます。

これらの調査結果や、職員・保護者・児童の「学校づくりアンケート」等を参考に、学校教育計画を作成していきます。保護者の皆様には、「学校づくりアンケート」にご協力をいただきありがとうございます。

